

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 24 日作成)

小委員会名	土地利用小委員会	主 査 名： 川上 光彦 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画小委員会	委員長名： 鳴海 邦碩 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用に関する計画制度や計画策定と土地利用の実態を探り、問題や課題を整理し、土地利用の整序化のための計画制度のあり方、具体的な提言などを行う。 ・2005,2006 年度は、既往の計画制度や特徴的事例の実態調査などを行うことにより現況システムの問題や課題を明らかにし、探求すべき方向性を明示する。 ・2007,2008 年度は、調査研究をとりまとめるとともに、建築学会大会時などに成果を報告するとともに、計画的な提言をとりまとめる。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 川上光彦 (金沢大学)、明石達生 (国土交通省都市・地域整備局)、阿部成治 (福島大学)、飯田直彦 (国土交通省国土技術政策総合研究所)、姥浦道生 (豊橋技術科学大学)、浦山益郎 (三重大学)、大橋南海子 (㈱まちづくり工房)、小野尋子 (琉球大学)、勝又済 (国土交通省国土技術政策総合研究所)、川崎興太 (㈱UG都市建築)、中井検祐 (東京工業大学)、中出文平 (長岡技術科学大学)、星卓志 (札幌市役所)、和多治 (横浜国立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・「大都市圏WG」と「地方都市圏WG」を設置予定である。 ・各WGにおいて、大都市圏と地方都市圏における設置目的に対応した研究活動を進めつつ、小委員会全体として両者の共通点や相違点などを明らかにする。 	
2005 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 (設置予定) 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	無し
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無し
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 土地利用に関する制度と実態について報告と討議を行い、共通認識を深めた。 2. 今後の研究会活動の内容などを確定できた。 3. 具体的な事例調査を行うことができた (3月実施予定)。
委員会活動の問題点・課題	1. メール通信などを活用したが、研究会の開催回数が限られた。 2. 本年度より設置し新メンバーが多いため、具体的な活動には至らなかった。 3. 設置予定の二つのWGを設置することにより、研究会活動を活発に進めたい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。